

話題・ニュース

☆温暖化防止 京都議定書 来年2月発効へ
地球温暖化防止のための国際的な枠組みを定めた京都議定書がロシアの批准決定を受け、正式に発効する見通しとなりました。

今回の答申でも、鉄道整備の基本的な考え方として、「鉄道が都市における自動車交通量の減少による二酸化炭素の排出量の減少を通して、地球温暖化対策に寄与すること等にかんがみ、新たな財源調達に積極的に対応することが重要」と環境重視の考え方が述べられております。

☆箕面公園 滝道新名所『橋本亭』再生

橋本亭は明治43年に滝道の一の橋のもとに建てられ、箕面公園の歴史を見守ってきた古い旅館です。後継者難等で休業していましたが、箕面都市開発(株)が事業主となり、明治・大正時代の姿に復元し、滝道活性化の象徴的な存在として本年11月1日に再生オープンしました。



灯りに揺れる夜の橋本亭。2階は宴会で賑わっています。

お問合せは 箕面都市開発(株)まで ☎ 072-721-1441

【編集後記】

☆猛暑の中で行われた箕面市長選(市議会議員同時)で、新しい市長が誕生した。新市長は「公共交通中心のまちづくり」を推進する観点から北急延伸には積極的に取り組む旨を内外に表明された。

事務局便り

【クルマに依存しない郊外生活の研究委託】
推進会議では、北大阪急行線延伸計画を環境面・利用者の視点から都市の魅力アップ方策として研究してもらい、研究成果を今後の取り組みに生かしていく目的で、大阪大学大学院工学研究科に「クルマに依存しない郊外生活の可能性に関する研究」をお願いしています。

大阪外大や追手門大の先生も参加された研究会が設けられており、「歩いて暮らせるまちづくり」や「郊外生活のくふう」等のテーマで、ゲストの話の聞いたり、くらしとライフスタイルに関するアンケート調査等を行いながら研究が進められることになっています。

【講演会・パネル展 調整中】

鉄道延伸に関する知識の向上や市民への情報提供などを目的に講演会、パネル展の開催を予定しています。

時期：1月中～下旬頃
場所：みのお市民活動センター
内容：講演会・パネル展

【賛助会員を募集しています】

賛助会員になられますと、推進会議の活動報告や講演会の開催をはじめ、北急延伸に関する情報を提供致します。

\*会費は無料です。
\*詳しくは事務局まで。
☎ 072-723-2121 (代) 内線 3447 北急担当まで

【北大阪急行線延伸推進会議】

《構成メンバー》

- 構成員：箕面市、箕面商工会議所、大阪北部農業協同組合、大阪船場繊維卸商団地協同組合、地元選出府議会議員、市議会議員
顧問：大阪府
オブザーバー：豊能町、能勢町、川西市
特別賛助会員：かやの中央まち育て協議会

- 賛助会員：箕面青年会議所、箕面船場ライオンズクラブ、箕面中央ロータリークラブ、箕面市観光協会、箕面市国際交流協会、箕面測量設計協会、緑遊新都心(株)、聖母被昇天学院、梅花女子大学・短期大学、追手門学院、東急不動産(株)、箕面ライオンズクラブ、箕面ロータリークラブ、みのおコミュニティ放送(株)、箕面市文化振興事業団、大阪府宅地建物取引業協会箕面市支部、箕面都市開発(株)、大阪外国語大学、大阪青山短期大学、関西大倉中学校・高等学校、摂津中学校・高等学校

(H 16.10.30 現在)

北急延伸ニュース

No. 8

きたきた通信



企画・発行 北大阪急行線延伸推進会議事務局 〒562-0003 大阪府箕面市西小路4丁目6番1号
箕面市都市整備部北急・まちづくり・紛調担当 ☎ 072-723-2121(代) FAX 072-722-2466

☆ 北急延伸 新しい答申に位置づけ ☆
～近畿地方交通審議会答申第8号～

去る10月8日、近畿圏の総合的な交通政策の基本的な方向性を検討していた近畿地方交通審議会から、概ね2015年(平成27年)を目標年次とする「近畿圏における望ましい交通のあり方について」の答申があり、北大阪急行線延伸計画が『京阪神圏において、中長期的に望まれる鉄道ネットワークを構成する新たな路線』12路線の一つに位置づけられました。

今回の答申では、鉄道整備を取り巻く厳しい社会経済情勢を踏まえ、整備路線の大きな絞り込みがなされており、この中で位置づけられたことは、具体化への大きな一歩と考えています。

また、新たに「道路交通混雑の緩和及び環境負荷の軽減に資する路線」とされており、本路線の環境面での効果が高く評価されています。環境問題が深刻化する中、本路線の重要性はますます高まっています。

箕面市『プロジェクト会議』を設置

市では、組織体制、財政計画、事業計画など延伸計画の実現に向けた課題について、具体的な取り組みの検討を円滑に進めていくため、近畿地方交通審議会の審議状況を踏まえ、本年8月、関係部局で構成する「北大阪急行線延伸」プロジェクト会議を設置しました。

延伸計画を全庁的な特命課題とし、関係部局が一致協力して多角的な観点から検討を進めていくこととしています。

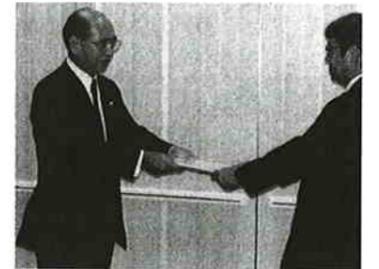
〈プロジェクト会議の構成部局〉
市長公室、総務部、市民生活部、都市整備部

推進会議では今回の答申に向け、答申案のパブリックコメントにあたり、構成団体共々連携して、「支援制度の拡充」などの意見提出を行いました。今後も講演会・イベントの開催により機運を盛り上げるなど、本答申を契機に北急延伸計画の早期実現に向け、より積極的に取り組んで参りたいと考えています。

北急延伸には「乗降客の確保」、「建設資金の確保」、「競合路線の理解と協力」などの課題のひとつを解決していく必要があります。これまでのご支援に感謝いたしますとともに、今後ともご支援・ご協力いただきますようお願い申し上げます。

(答申の詳細は次のページに特集しています)

※ 北大阪急行線延伸計画については、箕面市のホームページでご覧いただけます。市のトップページを開き、「安全・まちづくり」→「都市計画」→「◎北大阪急行線延伸構想」の順にクリックして下さい。きたきた通信のバックナンバーも掲載しています。



近畿地交審
新線整備は12路線
27年交通網基本計画を答申
国土交通省近畿運輸局 軌道部 近畿圏の交通政策の基本的な方向性を検討していた近畿地方交通審議会から、概ね2015年(平成27年)を目標年次とする「近畿圏における望ましい交通のあり方について」の答申があり、北大阪急行線延伸計画が『京阪神圏において、中長期的に望まれる鉄道ネットワークを構成する新たな路線』12路線の一つに位置づけられました。

産経新聞 2004.10.9 朝刊

## ★近畿地方交通審議会答申第8号の概要

### ●答申のポイント

- ★鉄道網の整備が進む一方で、少子高齢化などに伴う利用者減少を踏まえ、新線計画については12路線と絞り込むとともに、相互直通運転など既存鉄道ネットワークの有効活用に力点を置いた内容となっています。
- ★北大阪急行線の延伸などの新規路線については、「既存の枠組みでは施設整備が十分に出来ない」として支援制度の拡充を求めています。
- ★また、鉄道が自動車交通量の減少を通して、都市の環境問題の改善や地球温暖化対策に寄与することから、新たな財源調達への対応の必要性を提示しています。
- ★環境、安全等の観点から公共交通の利用が有益であることを個々に伝え、交通行動の転換を促す施策（モビリティ・マネジメント）の展開を求めています。

### ●答申における北大阪急行線延伸の目的・効果

- ★箕面新都心、水と緑の健康都市の開発等に伴い発生する輸送需要に対応するとともに、JR新大阪駅や大阪都心部への連絡機能が強化できる路線である。
- ★道路交通混雑の緩和や環境負荷の軽減ができる路線である。

### ●延伸路線の概要（右図を参照してください。）

延伸区間延長：約2.5 km

新駅（予定）：（仮称）箕面船場駅及び新箕面駅

ル ー ト：国道423号（新御堂筋）東側側道地下を基本とする

### ◆ 答申路線の選定とその考え方（答申抜粋）

- ★路線の選定に当たっては、利用が確実に見込まれる大都市圏の鉄道路線であることを前提に、運輸政策審議会第10号答申の未整備路線も含め地方自治体等から検討すべきものとして提案のあった路線を検討対象とした。
- ★これらの路線については、一定の条件設定の下に、路線ごとの輸送需要を算定し、これを踏まえて費用対効果や採算性の分析を行っている。費用対効果としては、整備費用に対する時間短縮、快適性向上、道路混雑緩和、環境改善等の効果を金銭価値に換算し分析している。
- ★これらの検討に基づき、費用対効果が1を超えるものであり、かつ、施設整備に対し相当の支援措置を前提に採算性が確保される路線を基本とし、さらに、地域開発や都市機能の向上等都市政策上の必要性を考慮して「京阪神圏において、中長期的に望まれる鉄道ネットワークを構成する新たな路線」として選定した。

## 『京阪神圏において、中長期的に望まれる鉄道ネットワークを構成する新たな路線』



## 『北大阪急行線延伸概略平面図』

（北大阪急行延伸基本計画（案）策定調査報告書 平成14年3月 箕面市より）

